

自治会の自治力アップと まちづくり

町の公共交通移動システム構築を

時代を捉えたシステムの構築に取り組みたい

なるのではないかと訴えた。いと、町全体が立ちいかなく町の抜本的な施策で打開しな

議員もなり手がない。

早急に

き家になる。

区長の選出も評

90万2千円の交付。

いるが、その活用実績と効果は。対策の補助事業を実施されて度にかけて、自治会へのコロナ

町では、令和2年度から3年

悩み試行錯誤している。 考えるより、今自治会運営を

ていない。

プランで10年先を

ているのに、効果が出施策から5年も経過し

考えるより、

防止のための備品整備を中心明ななかにおいて、感染拡大コロナ禍という先行きが不透 円を交付した。これら事業は、度は37自治会へ1,285万 に進められたことは、 地域の

ていきたい。

共助の取り組みを伸長してい

できるものではないと捉えて添いなどが必要となり、すぐ

ジタル技術の活用など、自助・ 顔が見える関係を構築し、

答 (町長)

予約受付や安全確保、

自治会の自治力

アップとまちづくり

● 会社のコロナ対策事業と効果は。

令和2年度からの自治

孫子の例を示しながら、

20 年

安心に寄与し、

活動の後押し

先には自治会加入の4%が空

でのプラン策定自治会数と実 することにつながった。 (みらい ら足掛け5年。現時点活性化プランの方策か 創生課長)

だが、自治会ミーティングのと。現在2自治会のみの実績 る。重要なことは、プランのり組みの本格稼働が進んでい設。東円堂では互助輸送の取 現状を話し合っていただくこ完成ではなく自身の自治会の 啓発していきたい。 機会も有効活用し、 用した地域の集いの場の 自治会館を活 引き続き 開

自体も活性化する。日活力、活気があれば、

反対に自

勢い

支援が提案された。

自治会に

伝えるとの意識醸成の自治会

まるごと活性化プランを策定

政治判断すべき。

町の公共施設再配置に合わせ

テムとしての構築を、町の公共交通移動シス

町長からは、

自治会で地域

し、自らの地域は自らが守り

治会活動が停滞すれば、

町全

体にも活気は戻ってこない

いった意味で、

自治会活

動の活性化は、

町の大きな課

組みだ。 システム構築に取り組みたい 容するなかで、 済が変化し、 地域が地域の移動を支える仕 取り組まれており 3つの自治会で互助輸送に すべての自治会でそう 目まぐるしく社会経 人々の行動も変 時代を捉えた これらは

協のデイ送迎車を活用し、いので、町として空いてる 医院通院等移動手段の構築を 舎一本化に合わせ、 、町として空いてる社いうシステムが創れな

いじめの早期認知と 適切な対応を

いじめ重大事態への対応と そこから学んだ教訓は

いじめを認知する教職員の資質向上と 組織対応力の向上が肝要



春祭りで鳴り響く太鼓の音

(教育長) 学校25人、

行が多く、 生活リズムの乱れ・遊び・ある。要因は、小学校では 中学校では、 中学校34人で 小学校では、 非

子どもの人権を尊重し

た保育・教育活動を充

実するためには

度のいじめの状況を求校園における令和3年

おける安全を確保する小中学生の登下校等に

重要性などを学んだ。 職員の資質向上と組織対応の2件ある。教訓としては、教 告はない。 ③令和3年度は重大事態の報 ことが、主な内容である。 話等で誹謗中傷されたりする されたり、 ②冷やかしやから ②主な内容は ①認知件数は。 られたり、 ことや恥ずかしいことをさせ ふりしてたたかれたり、 重大事態の発生は。 小学校29件、 、パソコンや携帯電、また仲間はずれに 過去5年間では、 か 嫌 遊 な ぶ

度の不登校の状況を求校園における令和3年

協力隊員の手腕も活か

なが

PR等に努める

4年度に着任した地域おこし

持っていただけるよう、令和る地域内外の人材に関心を

重な伝統産業である太鼓づく

軒の意向も踏まえ、

本町の貴

ふ鼓づくりをされている2

の後継者を育成できない

を活用し、

(みらい創生課長)

りの歴史や文化に、

熱意のあ

遂行を求める 向上と業務の効果的な役場職員の職務姿勢の

な職員配置になっているか 状況や、

休職する場合や、

公正かつ適正 コロナ

休職者や退職者が多い

禍に対応する負担が増大する 通常の業務に加え、 メンタルヘルスの不調

答のか。

答(教育次長 保護者やPTA、 に取り組むことが肝要と考え 常に危険である。 行政、警察署等が連携 国道8号線の横断が非 小中学生の登下校時 校時の見守り活動は 地域ぐるみで持続的 誘導員を配 地域住民、



総合案内の業務を

適材適所に配置している。

公共施設の最適配置を

各課の管理職と相談しながら

務内容の

平準化を

大事に考え

職員の

配置については、業

により退職する場合がある。

員個々の

人生における仕事観

録画配信はこちら

太鼓づくりの後継者

育成を図るためには

地域おこし協力隊制度

考える

第一に考えているか。

(公共施設最適配置推進室長)

けるなど、

住民の

利便性を

は、総合案内窓口を設本庁舎および支所に

案内している。支所になっ方の用件により、その部署 行っている。来庁いただい ス室が、 も同様の対応をす 現在、愛知川庁舎では住民 秦荘庁舎では秦荘サ

その部署へ

ンターが有していた機愛知川公民館、町民セ

および活動は、ハーテイーセー施設で実施してきた事業 両施設を利用している団 (公共施設最適配置推進室長) どの施設が担う計画な 秦荘などを中 心に展開

場所を確保する。 愛の郷などにその活動

チェリー競技開催に25国スポ障スポア・ 競技開催に 向

でである。 もひびがあり、照明 もだしい。またナッ る気持ちを会場設備に表すべからの選手役員を温かく迎え 立つ。これらを改修し、 和50年早々に新設。 けて 平早々に新設。現在45年わこ国体開催のため昭 秦荘グラウンドは、 照明の錆も目

指示している。これらの早急な対応を講じる れる大きな費用を伴うことか には1億円を超えると予想さ これらの改修